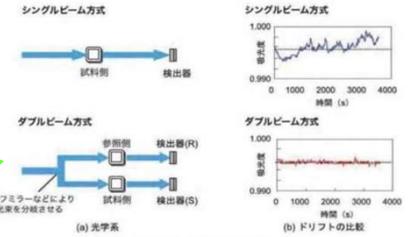


マグクロレンが中のCr⁶⁺の分析

紫外可視分光光度計の使用

分光光度計は、紫外領域(波長200-380nm)と可視領域(波長380-780nm)の光の領域を用いて溶液中の分子の吸収スペクトルを測定し定量分析を行える装置です。当分析センターの装置はダブルビーム方式であり、分光器で分光した単色光をハーフミラー等で試料光と参照光に分岐させ、試料光は試料の吸収測定に用い、参照光は装置に起因するドリフトの補正に用いているので、長時間測定においてもドリフトの少ない安定した測定が可能です。



分析手順

粉末試料

参照試料
(蒸留水)

分析試料



＜試料溶液の作製＞ 環境省告示第46号土壤環境基準付表1に準拠して作製
六価クロムは水溶液中に可溶であるので、振とう器と遠心分離機を用いて試料溶液を作製する。

分析結果

＜コメント＞

マグクロレンが製品を分析してみた。採取位置を変えて実施。およそ3ppmであった。

(注)分析結果の単位はppm(試料1kg中の分析成分mg)であり、環境基準で使用する単位mg/Lとは異なることに注意。

単位：ppm (mg/kg)	Cr ⁶⁺
マグクロレンが 1	3.0
マグクロレンが 2	2.0
マグクロレンが 3	3.3